

高浜発電所3,4号炉
訓練スケジュール等について

2020年10月20日

関西電力株式会社
高浜発電所 安全・防災室

- ①特重施設要員の社員と協力会社の役割と当番体制のイメージ
- ②SAおよび特重の力量を有する要員をどのようにして日々の当番体制で管理するのか
- ③APC成立性、SAシーケンス訓練および大規模損壊対応訓練の“任意の班”をどのようにして選定しているのか

Ⓟ 高浜発電所では、特定重大事故等対処施設の操作は、1名/ユニットで操作可能な設計としていることから、高浜3,4号炉での必要要員に7日間の事故対応を考慮し、以下のとおり体制を確保する。

①3号および4号に燃料が装荷されている場合：名

②3号または4号に燃料が装荷されている場合：名

Ⓟ 体制については、1名は社員とし、残りを協力会社に委託することとしている。

○特重当番運営方法（案）

の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

3号and4号 燃料装荷時	3号or4号 燃料装荷時	対象者数	運用方法

②SAおよび特重の力量を有する要員をどのようにして日々の当番体制で管理するのか

- Ⓟ 高浜3,4号炉のSA初動体制として70名が必要であり、内訳は①SA本部要員6名、②SA現場要員40名、③運転員24名となっている。
- Ⓟ ①および③については、全て社員が役割を担っているが、②については40名中□名が社員、□名が協力会社に委託しており、具体的な管理方法については下表のとおり。

○SA当番運営方法



の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

SA初動体制	対象者数	運用方法	宿直日変更時の管理
本部要員（社員）			<ul style="list-style-type: none"> ・力量および保有資格が同等以上であることを条件に当番変更を許可し、当番表に反映 ・変更の有無に関わらず、日々、当番表により体制の確立を確認 ・なお、複数社かつ異なる班数で当番を運用していることに加え、自己都合での当番日交代等があることから日々の体制が同じメンバーになることは稀。
現場要員（社員）			
運転員（社員）			
現場要員（協力会社）			
消火活動要員（協力会社）			

③APC等時の成立性確認訓練、SAシーケンス訓練および大規模損壊対応訓練の

“任意の班”をどのようにして選定しているのか

の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

- p 各訓練では過去の訓練参加者を参照し、未経験者を中心として可能な限り今回と要員が重複しないよう、また、特定の役割に偏らないよう配慮し班を構築することとしており、具体的には下表のとおり選定する予定。
- p なお、従前よりシーケンス訓練においては、訓練実施に向けて2班選定し訓練の約1週間前にどちらの班で実施するかを決定してきている。

訓練名称	訓練対象者		選定方法
	役割	対象者数	
APC等時の 成立性確認訓練			任意の要員 今後は、本訓練に参加していない要員を優先して選定予定。
			3班の内、1班。各直の参加回数が等しくなるよう配慮予定。
シーケンス訓練	運転員		5直の内、1直。各直の参加回数が等しくなるよう配慮。
	本部要員(社員)		
	現場要員(社員)		
	現場要員(協力会社)		
	召集要員(社員)		
	召集要員(協力会社)		
		任意の要員。 今後は、本訓練に参加していない要員を優先して選定予定。	
大規模損壊訓練	緊急時対策本部要員		過去、本訓練に参加していない要員を優先的に選定
	消火活動要員(社員)		
	消火活動要員(協力会社)		3班の内、1班。各班の参加回数が等しくなるよう配慮。
			任意の要員。 今後は、本訓練に参加していない要員を優先して選定予定。